

# 「COVID-19 感染対策における PCR 検査実態調査と利用推進タスクフォース」 中間報告書（図表修正）

（記）

中間報告書 12 ページの表 1 を以下の様に修正致します。  
なお本修正に合わせて本文中の数値も一部変更しております。

《表 1》

財政出動が必要なPCR拡大政策	想定費用概算	備考
①-1入院患者全員の事前PCR検査の実施（診療報酬ベースでも可）	131万人×18,000円 = 236億円	入院患者：131万人（厚労省）
①-2妊婦全員の事前PCR検査の実施（診療報酬ベースでも可）	90万人×18,000円 = 162億円	出生数：90万人（厚労省）
②医療従事者全員のPCR検査の実施費用	200万人×2回 × 18,000円 = 720億円	医師：33万人、歯科医師数：10万、薬剤師数31万、看護師数122万、検査技師他：6万、他
③保険適用の行政検査を医療機関に委託する上で、申し出に基づき都道府県が指定した医療機関にコロナ検査実施支援金の給付	1000医療機関 × 500万円 = 50億円	PCR検査の実施（外部委託含む）に当たって安全キャビネットの設置や装置の導入基盤整備費用とし、各種機器の導入については⑤と連動する
④重症化患者等受け入れ促進費用 救急医療管理加算】の2倍相当の加算（1900点）とは別建ての受け入れ準備費用等が必要	300医療機関 × 500万円 = 15億円	大学病院の数：163、日赤病院：92、JHCO：57、済生会：81、厚生連：107、他の300を予算上の参考仮置きとし、特定するものではない。
⑤国内PCR検査試薬・機器開発振興支援金	国内工場増産支援：50億円 医療機関・保健所等の機器導入支援： 1000施設×150万円=150億円 合計：200億円	上記医療機関＋それ以外の地域医療支援病院及び届け出の医療機関、衛生研究所、保健所を対象とした機器等導入費用
⑥検体採取キット、スワブの増産支援金	1200万テスト×100円 = 12億円 増産体制の支援金として100円/テスト	目標1200万テスト（国民の約10%相当）
⑦感染防護備品増産企業支援金(PPE,FS等)と配布管理センターの設置費用	255百万個 × 100円 = 255億円 配布センター設置・維持費用：5億円 合計：260億円	患者接触者170万（医師：33万人、歯科医師数：10万、看護師数122万、検査技師他：6万他）×150日
⑧試薬生産管理集中情報センター設置と情報データベースの構築費用	100人×500万円 = 5億円 システム開発3億円	47都道府県×担当2名＋全体管理6名 = 100名 試薬・需給バランス管理システム
⑨網羅的・継続的大規模遺伝子検査品質保証評価認証センターの設置と内部・外部精度管理推進機関の設置費用	100人×500万円=5億円 ＋管理物質経費：5億円	47都道府県×担当2名＋全体管理6名 = 100名 精度管理物質調整・配布・データ管理
⑩感染症遺伝子検査教育・訓練組織センターの設置と運用費	: 100人×500万円=5億円	47都道府県×担当2名＋全体管理6名 = 100名 試薬・需給バランス管理システム
⑪正確で効率的な統計処理を可能とする為の多種多様な検査方法の項目コードの標準JLAC10登録と患者ID追跡システム構築費用	システム開発2億円 ＋500万円 × 1000施設=5億円	上記医療機関＋それ以外の地域医療支援病院及び届出の医療機関、衛生研究所、保健所等を対象として仮置き
<b>総額</b>	<b>1685億円</b>	